

序 章 目的と対象範囲

1. 目的

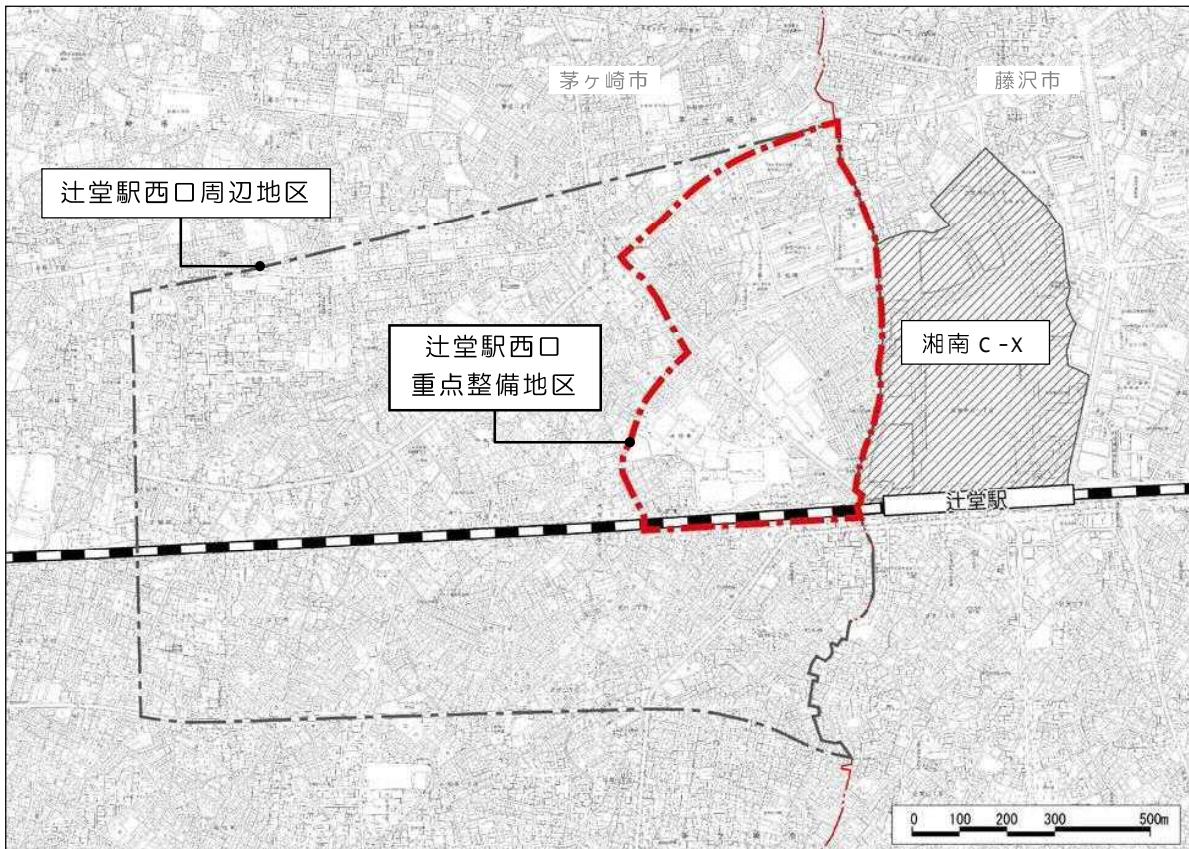
本書は、平成 17 年 3 月に策定した「辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画」に基づき、辻堂駅西口周辺地区における都市基盤施設や土地利用の具体的な整備内容を示した「辻堂駅西口重点整備地区整備計画」である。

本整備計画の策定にあたっては、「赤松町地区まちづくり協議会」や藤沢市との調整を行いながら、府内に設置した「辻堂駅西口周辺整備連絡調整会議」を中心に、学識経験者の助言を受けながら、検討を行ったものである。

2. 重点整備地区範囲

平成 17 年 3 月に「辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画」を策定した辻堂駅西口周辺地区約 163ha の内、湘南 C-X（シークロス）に隣接する約 35.56ha と駅関連施設等を辻堂駅西口重点整備地区の範囲とする。

図 重点整備地区の範囲 時点修正



3. 改訂にあたって 新規

(1) 改訂の背景

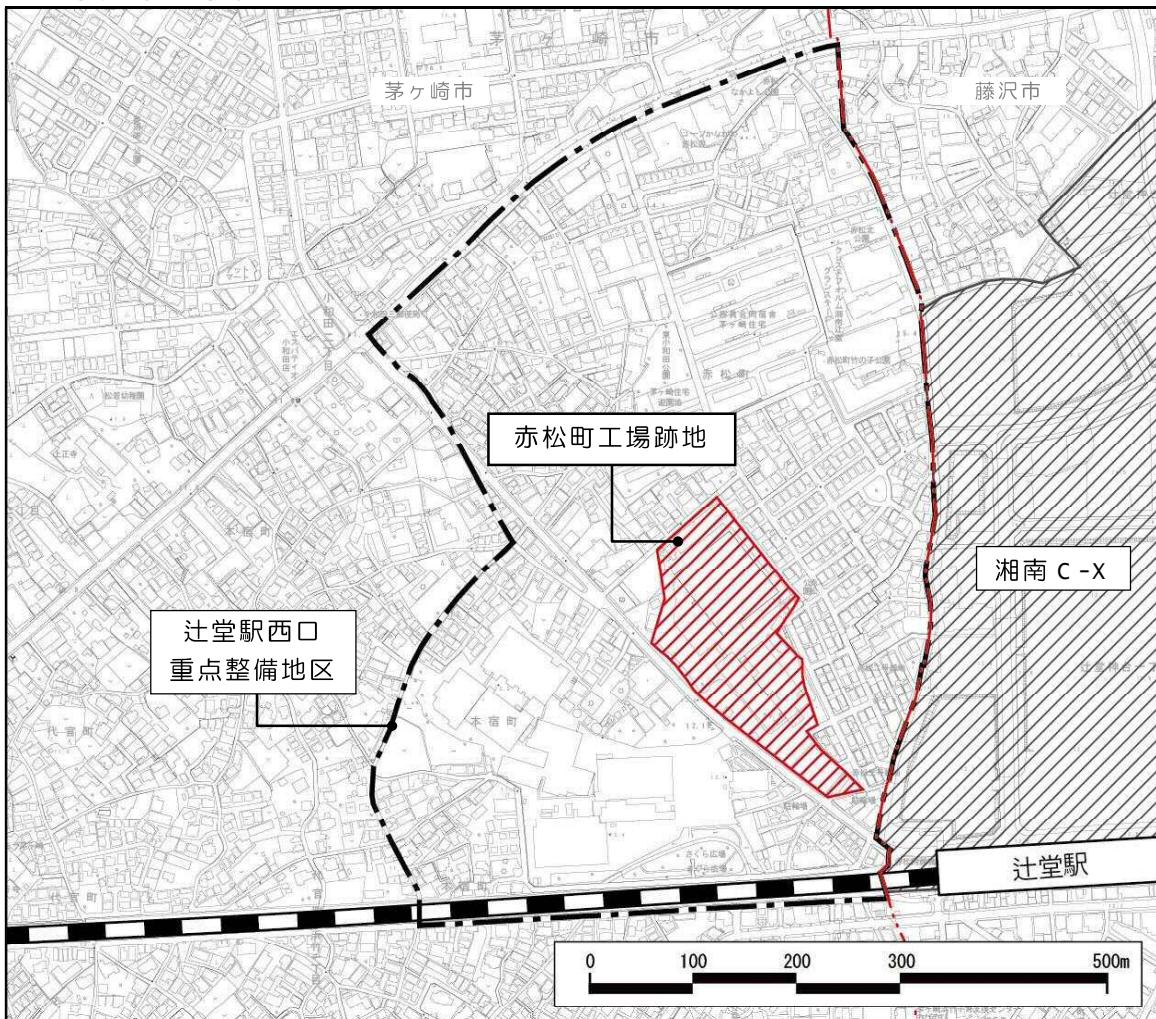
辻堂駅西口周辺地区については、平成18年3月に「辻堂駅西口重点地区整備計画」を策定し、藤沢市の湘南C-X開発との連携を図りながら、広域的な視点にたった拠点にふさわしいまちづくりを進めている。

平成23年11月に湘南地域最大のショッピングモール「テラスモール湘南」がオープンするなど、湘南C-Xのまちづくりが進められるとともに、辻堂駅西口広場や、駅ホーム、駅舎、跨線橋等の駅関連施設や市境道路が整備され、まちの状況が徐々に変わりつつある。

こうした中、平成24年に重点整備地区内の赤松町にあるパナソニック（株）エナジー社湘南工場※の撤退が発表され、この約2.5haの跡地（以下、「赤松町工場跡地」という。）における今後のまちづくりに関し、本市では「赤松町地区（パナソニック（株）AIS社 辻堂工場跡地）に係るまちづくりの考え方について」（以下、「赤松町地区に係るまちづくりの考え方」という。）を平成26年2月に策定している。

※現在は、「パナソニック（株）オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社辻堂工場」

図 赤松町工場跡地位置図



また、平成26年3月には「ちがさき都市マスタープラン」の一部見直しがされており、その中で、辻堂駅西口周辺地区については、「湘南C-X地区のまちづくりの進捗状況を踏まえつつ、住宅、商業や工業などが調和した土地利用へと誘導するとともに、工場の閉鎖により生じた大規模な敷地については、活力と賑わいを創出する都市拠点にふさわしい適切な土地利用となるよう検討する。」としている。

以上のことから、平成18年3月策定時からの状況の変化を踏まえ、「赤松町地区に係るまちづくりの考え方」や「ちがさき都市マスタープラン」との整合を図りながら、「辻堂駅西口重点整備地区整備計画」の改訂を行うものである。

(2) 改訂版について

本書の構成について、整備が完了した項目、時点修正等の項目とその改訂理由を整理すると、下表のようになる。

表記について
 完了：整備が完了した項目 時点修正：時点修正した項目 新規：新規に追加した項目 追加：追加した項目

表 改訂内容

分類	項目	改訂理由
地区の現況整理	1. 土地利用 ······ 2. 交通 ······ 3. 公園・緑地 時点修正 4. 防災 時点修正 5. 公共公益施設 新規 6. 西口駅閾連施設 完了 7. 地元住民による問題点の整理 新規 8. 地区の課題 ······	<ul style="list-style-type: none"> (1)土地利用現況 時点修正 (2)用途地域等 時点修正 (3)木造・老朽建物 時点修正 (1)道路 <ul style="list-style-type: none"> ①幹線道路(都市計画道路) 時点修正 ②生活道路 時点修正 (2)交通量 新規 <ul style="list-style-type: none"> ①自動車 ②歩行者 ③自転車 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度神奈川県都市計画基礎調査に基づく時点修正 ・高度地区指定による時点修正 ・平成24年度茅ヶ崎市都市計画基礎調査解析業務報告書に基づく時点修正 ・自転車走行空間の路面標示の設置完了に伴う時点修正 ・整備が完了した市境道路に関する内容を時点修正 ・湘南C-Xの「テラスモール湘南」開業前後の交通量変化に関する新規項目 <ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地について時点修正 ・平成20年度地震による地域危険度測定調査報告書に基づく時点修正 ・公共公益施設の分布状況に関する新規項目 ・整備が完了した西口駅閾連施設に関する項目 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に実施された、住民参加のまちあるきワークショップにて挙げられた本地区の持つ問題点と課題について整理した新規項目 ・湘南C-X開業に伴う時点修正 ・湘南C-X開業に伴う時点修正
地区整備方針の検討	1. 茅ヶ崎市辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画の概要 追加 2. 赤松町地区に係るまちづくりの考え方についての概要 新規 3. 地区整備の方針 ······	<ul style="list-style-type: none"> (1)辻堂駅周辺の将来像 (2)まちづくり基本計画 <ul style="list-style-type: none"> ①土地利用 ②交通計画 ③公園・緑地計画 ④景観形成計画 ⑤安心で人にやさしいまちづくり計画 <ul style="list-style-type: none"> ・本地区に関する内容を中心に茅ヶ崎市辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画の概要を記載した項目 <ul style="list-style-type: none"> ・赤松町地区に係るまちづくりの考え方についての概要の新規項目 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に一時的に避難・集合する場所の確保の内容を加え時点修正
都市構造の検討	1. 基本的な考え方 時点修正 2. 広域道路体系 3. 骨格軸構造 ······ 4. 拠点配置 ······	<ul style="list-style-type: none"> (1)幹線軸 <ul style="list-style-type: none"> ①辻堂赤羽根線(赤松通り) ②国道1号 ③東西・南北道路 (2)歩道軸 <ul style="list-style-type: none"> ①歩行軸1 ②歩行軸2 ③歩行軸3 (1)駅結接拠点 (2)都市型産業拠点 <ul style="list-style-type: none"> ①産業機能の保持 ②賑わい施設の導入 ③大規模敷地と地区的連携 時点修正 (3)『住』を中心に、活力と賑わいを創出する都市拠点 新規 (4)近郊型居住拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・都市型産業拠点の位置の変更に伴う時点修正 ・赤松町地区に係るまちづくりの考え方を踏まえた新規項目
土地利用計画の検討	1. 駅前拠点ゾーン 2. 都市型産業ゾーン 3. 「住」を中心とした複合ゾーン 新規 4. 都心型優良居住ゾーン 5. 近郊型居住ゾーン 6. 沿道複合ゾーン (図) 都市構造図 時点修正	<ul style="list-style-type: none"> ・赤松町地区に係るまちづくりの考え方を踏まえた新規項目 <ul style="list-style-type: none"> ・赤松町地区に係るまちづくりの考え方を踏まえ、図を時点修正
道路整備計画の検討	1. 東西・南北路線 ······ 2. 辻堂赤羽根線(赤松通り) ······	<ul style="list-style-type: none"> (1)南北路線の必要性 (2)線形案のケーススタディ 時点修正 <ul style="list-style-type: none"> ①都市計画道路として11mの幅員で整備済み ②辻堂赤羽根線(赤松通り)沿道工場等の施設更新や開発に合わせて歩行者空間の充実を図る 時点修正 <ul style="list-style-type: none"> ・検討の進め方についての内容を加え時点修正 <ul style="list-style-type: none"> ・赤松町工場跡地の開発に合わせ時点修正
整備手法の検討	(表)整備手法とスケジュール 時点修正	・駅結節拠点、市境道路の整備、赤松町工場跡地活用に合わせ時点修正

